

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ツクル 生駒校(生駒市俵口)
------	----------------

公表日 2025年 3月 15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	低学年と高学年の活動スペースを区分している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	子どもの特性に応じた配置を心掛けている	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	動線を確保している。 安全に配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	5Sを取り入れ常に空間配置の最適化を行っている	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	児童がクールダウン出来る場所を作っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	療育の開始前を終了後にその日の療育について子ども別に確認し、振り返りを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年一回評価をいただき反映させている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	事業所内での意見交換、業務改善は常日頃から行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		第三者機関からの外部評価を受けているか周知されていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	ジョブアカデミーなどを用いて法人内研修を日頃から行っている	
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	随時、意見交換を行いながら作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	随時、意見交換を行いながら作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	インフォーマルアセスメントによる行動観察を日頃から行いカンファレンスしている	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎日意見交換を行い、全員が把握できるよう努めた上で活動プログラムの立案と実施を行なっている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	利用者の反応やニーズの調査などを行なって、新しい取り組みを取り入れるようにしている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	随時意見交換を行なうながら活動立案と日程を作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	随時意見交換を行なうながら、個々の療育内容やケース会議などを常に行なっている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日支援終了後に振り返りと個々の特記事項の報告を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	ただ記録をつけるだけでなく、口頭での報告も行い、出来るだけ漏れのない情報共有に努めている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングを分担し、しっかり行なっている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	療育開始前の計画立てと終了後の振り返りの時間を作り、自己決定と見通しを持つ練習の機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		必要都度連携を取っているが体制化には至っていないため、連携体制化の構築を行う
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	1	不登校の利用者に対して療育記録や、学校現場での支援の方法などについての情報共有を行なっている。	学校との直接の情報共有は行っておらず、保護者から情報をいただいているため今後は情報共有を行う
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		事業グループ内の児発支援とのみ連携が行われているが、外部の児発支援との連携がないため今後構築を行う
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		中学卒業後の障害福祉サービス事業所等の利用者がおらず、他放課後等デイサービスへ移行するため提供の実施がない
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイトや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		現在は児童発達支援センターとの連携が行われておらず、今後連携を構築しスーパー・バイトなどの機会を設ける
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		現在は地域との交流はなく、今後必要に応じて機会を設けていく
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	市の放ディ協議会、子ども支援部会への参加をし、他事業所、他職種との連携に努めている。	

	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回申し送りを丁寧に行なっている。また、各家庭の要望に合わせて情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	専門職コラムの配信など、療育や子育てについての情報提供を行っている。	実践的な研修等の機会はまだ実施回数が少ないため、今後も継続して取り組んでいきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を行っている他、保護者からの問い合わせがあれば都度対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3		グループでの活動についての告知の工夫が必要
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	Instagramを活用し日々の療育やイベントについての発信や、専門職から子育てや療育につながる知識についての情報提供の発信も行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域の団体や子どもたちを招いてのイベントの開催を行なっている。	現在は安全確保が担保されない状況のため地域住民の招待は行っていないが、今後安全確保など課題が解決すれば実施を検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		マニュアルの掲示閲覧を周知徹底し、各訓練の実施を行う
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	今年度BCPを策定し、それも踏まえた防災訓練の実施などを行なっている。	BCP策定と避難訓練が行われていることを周知徹底する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	利用契約時に保護者に確認の他、利用中に変化があった場合は都度確認を行なっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		飲食の提供を実施していないため指示書の提供を求めていないが、今後必要があれば指示書の提供を求める
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		今後一体化された安全計画の作成と周知徹底を行う

	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事業所内だけでなく、グループ全体で共有することで、再発だけでなく事前の防止にもつながるよう努めている。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	マニュアルを策定した上で、保護者にも契約時等に説明を行っている。	